

海事クラスターシンポジウム
～神戸における海事産業の位置付け～（神戸開港 150 年記念事業）を開催

一般社団法人 日本船主協会

当協会と（公財）日本海事センターは、平成28年4月18日（月）、神戸商工会議所（3F 神商ホール）において題記シンポジウムを開催した。

当協会は、一般の皆様へ海事産業の重要性を改めて認識していただくことを目的として昨年の夏に乗船見学会をはじめとする様々なイベントを開催するとともに、昨年7月に「『新外航海運政策』の早期実現に向けた提言」を取りまとめる等の活動を行っており、本シンポジウムはその一環として、海事都市の代表格である神戸市において行われたものである。

会の冒頭には、当協会工藤会長より挨拶があり、その中で、熊本地震で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一刻も早い復旧、復興を願う旨の言及があった。

当日は、一般参加者や海事関係者等、200名を超える出席があり、盛会裡に終了した。

シンポジウムでは概要以下の基調講演・パネルディスカッションが行われ、海事クラスターの重要性等についての講演・議論がなされた。

1. 基調講演「神戸港と輸送産業の現在と今後」

神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 竹林 幹雄 氏

2. 基調講演「海事クラスターと神戸」

衆議院議員 盛山 正仁 氏（自由民主党 海事立国推進議員連盟 事務局長）

3. パネルディスカッション「海事都市・神戸の位置付けおよび将来」

コーディネーター

日本海運経済学会 会長 星野 裕志 氏（九州大学大学院 経済学研究院 教授）

パネリスト（4名）

神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 竹林 幹雄 氏

（株）神戸製鋼所 取締役相談役 佐藤 廣士 氏

川崎重工業（株）常務執行役員 船舶海洋カンパニープレジデント 餅田 義典 氏

八馬汽船（株）代表取締役社長 伊藤 隆夫 氏（日本船主協会 阪神地区船主会 議長）



当日のシンポジウムの模様



▲開会挨拶を行う工藤会長



▲来賓挨拶を行う久元神戸市長



▲基調講演を行う竹林神戸大学大学院教授



▲基調講演を行う盛山衆議院議員



▲パネルディスカッションの様子
(左から、星野氏、竹林氏、佐藤氏、餅田氏、伊藤氏)

以上